

令和3年度
事業報告書

令和3年度 社会福祉法人聖和会事業報告

I 法人運営について

令和3年度も長引くコロナ禍で「自らが感染しない。ウイルスを持ち込まない。」との基本方針の下、利用者・ご家族様及び職員の安心・安全なサービス提供を最優先に感染対策の徹底に努めてまいりました。また、2025年問題など少子化及び超高齢化社会を迎えるにあたり、中長期的な課題の検討も行いながらこの1年間、各施設・事業所とも事業運営をすすめてまいりました。

社会福祉法人には、本来、地域の福祉ニーズに対して、先駆的・実験的に取り組む役割が期待されており、また、地域社会の中で生活していくために必要なサービスを充分に受けることができないままにいる人が無いう、関係者との連携の中で問題を発見し、対応していくことが求められています。

しかしコロナ禍の下、現状ではこうした社会福祉法人の役割や機能を充分には果たし得ていないという状況が指摘されています。今一度、社会福祉法人の役割（存在意義）とそれを果たすことの必要性を確認し、その機能強化を図ることが大きな課題となっています。

1. 理事・監事・評議員が高齢者福祉についての問題意識を持ち、理事会・評議員会がそのことについての実質的な審議の場となるように取り組む。

今後、超高齢化社会を迎えるにあたって、各議案審議について理事及び評議員の皆様様の様々な立場からの工夫や問題意識を積極的に表明して頂きました。日常的な事業運営にあたってコロナ禍での施設・事業所運営の在り方や利用者様はもとより家族、地域住民の皆様との交流や意見交換等の重要性に鑑み、各種協議会や家族面会、地域事業の際に意見聴取を継続してすすめてきました。

2. 当法人が、社会福祉法人として主体性を持ち自律的な経営ができるようにしていくために必要な、役員としての役割を確認する意味でも、役員研修会に積極的に参加し、意識の向上に努める。

法人本部を中心に厚労省や社会福祉法人経営者協議会の研修資料に基づいて、2025年問題をふまえた社会福祉法人の在り方や経営戦略について学び、中長期的なプロジェクト（案）を策定し取り組みをすすめています。

3. 地域共生社会の実現に向けた施設作りという観点から、地区振興会、地区社会福祉協議会等の地域団体との連携を強め、地域における問題点や改善策を拾い出し、同時に地域福祉の向上に努める。また、感染対策及び防災対策の強化を図り、地域と連携し、地域の防災拠点としての機能の充実を図るよう推し進めていく。

法人本部をはじめ各管理者が県や天草市、各種協議会が主催する研修会（主にWEB研修会）に参加し、新型コロナウイルス感染症対策やBCP（事業継続計画）、人事制度、職員採用制度について、研修内容に基づき具体化を図っています。防災対策については、下浦地域コミュニティーセンターや地域消防団との連携等の協議開始が課題となっています。

4. 年2回の定時理事会（5月、3月）及び定時評議員会（6月、3月）を開催し、第1回定時理事会においては、事業報告及び決算報告等を行い、第2回定時理事会においては、事業計画及び予算を主題とした理事会を開催し、各定時評議員会において承認を行う。また、必要が生じた場合は理事会・評議員会を随時開催・審議し、法人の適正な運営に努める。

新型コロナウイルス感染症対策として招集困難な1年ではありましたが、役員選任などの臨時開催など法令に基づき適正な運営を行いました。また、議案書様式や説明資料について工夫を図り、より実効性のある会議運営に努めました。

日時	内容	出席者数
令和3年5月26日	監事監査	監事2名
令和3年6月4日	第1回理事会（事業報告・決算等）	決議の省略
令和3年6月22日	第2回理事会（理事長の改選等）	理事6名、監事2名
令和3年8月25日	第1回臨時理事会（新理事の選任等）	決議の省略
令和4年3月22日	第3回理事会（事業計画・補正予算等）	決議の省略
令和3年6月22日	第1回評議員会（監事監査・決算報告等）	決議の省略
令和3年8月25日	第1回臨時評議員会（新理事の選任等）	決議の省略
令和4年3月30日	第2回評議員会（事業計画・補正予算等）	決議の省略

5. 内部管理体制の整備を行い、経営・リスク管理・コンプライアンス等の状況を把握するとともに、適正な法人運営に向けて意見交換を図り、相互認識を深め、適宜改善に向けて努力する。

令和3年度は熊本県及び天草市の法人監査実施にあたり、各施設・事業所とも連携し、諸規定に基づく必要な書面の保管状況の点検、監査時の助言をふまえた法人運営の改善に努めました。引き続き、2025年問題等もふまえ、グループ法人（医療法人社団開会）とも連携し、中長期的に安定した経営が持続できるよう具体化を図ります。

6. 令和4年度に迎える聖和会創立30周年記念に向けて、地域に還元できる企画を含めたイベントを計画し、実行委員会を立ち上げ開始する。

グループ法人とも連携し中長期的プロジェクト（案）として検討中、コロナ禍で可能な企画について、引き続き具体化をすすめます。

7. 経理処理については公認会計士による点検及び評価を受け、法令及び基準に則り適正に処理されていることの確認を行う。

令和3年11月25日に実施された熊本県及び天草市の指導監査の助言への対応も含めて、提携する公認会計士指導により適正な会計処理に改善しました。引き続き、法令及び法人規定に基づく適正な経理処理に努めます。

II ケアハウス聖和園

令和3年9月から前任者退任に伴い新施設長の下で「明るい老後を目指して」の理念に基づき、施設生活の入り口とも言うべきケアハウスでの生活が、ご本人の状況に合わせて自分らしい生活を維持できる様、施設運営に心掛けてまいりました。

また、高齢者の医療・介護を配置した複合施設として、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、お一人お一人に寄り添って、安心感を抱いていただき「ここにきてよかった」と思っていただけの施設作りに尽力してまいりました。

1. 入居者が気持ちよく安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

経年経過による建物及び設備の不具合が生じています。令和3年度は電気設備について高圧気中開閉・引き込みケーブル等取替え、給湯設備について貯湯槽取替え、事務棟屋根の雨漏り修繕、食堂天井部の改善・補修を実施しました。引き続き、廊下等の共有スペース大型エアコン・室外機の不良部分の改修、火災や緊急災害時の避難経路確保も含めた中庭の大規模整備等の案件が課題となっています。

2. 入居者の体調・精神面の変化に留意し、健康で安全な生活をしていただけるように努める。

入居者の高齢化やADL低下も見られる中で、グループ法人の開医院や通所リハビリ、デイサービスとも連携し、暮らしぶりや体調変化などの情報共有、日常的な健康管理に留意した支援を行いました。引き続き、夜間等の体調不良や急変時について、開医院との具体的な連携方法を見直します。

3. 入居者に満足していただける食事を提供する。

入居者様は基本的に自力で食事を楽しまれます。体調不良時にあたっては開医院や栄養士・管理栄養士の指導の下で入居者様の体調をふまえた食事形態も提供できるよう努めます。一方、高齢者の皆様が喜んでいただける献立については、嗜好や日常的な食べ残し調査結果等も活用し、様々な職種（役割）との意見交換を活発に行いいっそう食事サービス提供の向上を図ります。

4. 入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

本人のニーズを的確に把握し各担当ケアマネと連携し、入居者様に必要となるサービス内容を案内できるよう支援を行いました。引き続き、利用中のホームヘルプ、通所リハビリ、デイサービスの各事業所との連携をいっそう深め、日常生活が快適に過ごせるように努めます。

5. 四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わっていただく。

コロナ禍で外出機会が少なくなっている点もふまえ、施設行事や食事サービスにより季節感を感じていただけるよう工夫を図りました。

6. 入居者と職員の信頼関係をつくる。

日常的な支援を通じて、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めました。ご意見箱の設置なども含めて、日常のお困りごとや不安に思っている点も把握できるよう努めています。

7. 職員の資質向上を目指し、楽しく仕事ができる環境を作る。

引き続き課題別の研修実施はもとより、施設行事の開催にあたっては職員も入居者様と一緒に楽しめる企画となるよう工夫を図ります。

ケアハウス聖和園 令和３年度 行事实施状況報告							
年	月	地域、施設関係		入居者行事		職員研修	
令和３年	４月	消防訓練		花見		虐待防止研修	
		消防設備点検		誕生会			
		ハウス創立記念日（29周年）					
	５月	合同消防訓練（27日）		菖蒲湯		感染症対策研修	
				母の日（バラの湯）		（食中毒）	
	６月			父の日		停電・台風対応研修	
				ひらやま衣料品店出張販売			
				新型コロナワクチン接種（１回目）			
	７月			七夕		看取り介護研修	
				新型コロナワクチン接種（２回目）			
	８月	夏祭り		夏祭り		事故防止研修	
	９月	敬老会		敬老会、下浦敬老会	中止	苦情解決研修	
				十五夜、お茶会	中止		
	10月	下浦秋祭り	中止	下浦秋まつり	中止	感染症対策研修	
		消防設備点検	担当			（インフルエンザ等）	
	11月			開設記念行事		身体拘束研修	
				インフルエンザ予防接種			
	12月	合同消防訓練（9日）	2人	ひらやま衣料品店出張販売		事故防止研修	
		開会・聖和会職員忘年会	中止	ゆず湯			
				クリスマス会			
				忘年会			
令和４年	1月			初詣・初湯		接遇研修	
				新年会			
				七草粥			
	2月	下浦ふるさと祭り	中止	節分・豆まき		褥瘡研修	
				下浦ふるさと祭り	中止		
				バレンタインデー			
				新型コロナワクチン接種（３回目）			
	3月			ひな祭り		看取り介護研修	
				花見、ドライブ			
				ホワイトデー			

毎月２４日に、その月の誕生者の入居者様の合同誕生会を実施しました。

毎月１回、夜警者による消防訓練を実施しました。

地域共同行事及び協議会・外部研修などは新型コロナウイルス感染流行期にあり、中止となりました。

Ⅲ デイサービスセンター聖和園

令和3年9月から前任者退任に伴い新たな管理者の下、通所介護事業所としての役割や当センターの特徴を活かし、利用者様に必要な日常生活上の支援及び機能訓練を中心に事業運営をすすめてまいりました。また、建物の経年劣化による不具合の改修事業として、屋上防水工事を行い、利用者様が安心してご利用いただける環境の改善に取り組みました。

1. 利用者様の体調や要介護等の心身特性を踏まえて、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助等日常生活上必要な支援及び機能訓練をすすめました。
2. 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう目標を設定し、計画的にその提供を行いました。特に複合施設の利点を生かし利用者様が安心して、快適に過ごして頂けるようグループ施設間の連携に努めました。
3. 年度途中で利用者様の長期入院やご逝去に伴い利用者数の減少が顕著となったことをふまえ、サービスを必要とされる利用者様を幅広く受け入れるため、居宅介護支援事業者、包括支援センター、その他保健医療サービス及び福祉サービス提供者への広報活動を行いました。引き続き、要介護、要支援双方の利用者獲得が課題となっています。
4. 感染症・災害対策・地域との連携について、感染症対策について「自らが感染しない、ウイルスを持ち込まない。」との対策を徹底し事業継続を行うことができました。災害対策については、地域連携の具体化が課題となっています。
5. 職員への伝達及び確認を徹底し、円滑な業務が継続できるよう徹底しました。また、ライフスタイルに合わせた働き方の実践など、職員が働きやすい職場環境づくりに努め、最低年5日の年休消化を必須とし、より多くの有給休暇の取得を実現しました。

デイサービスセンター聖和園 令和3年度行事実施状況報告							
定例行事							
利用日	送迎、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練、口腔ケア、機能訓練						
毎 月	料理づくり、体力測定、外食、おやつ作り						
		ゲーム	風船バレー、ボール渡し、カラオケ、その他				
		製作活動	手工芸、折り紙、ちぎり絵、ぬり絵、習字、脳トレ、等				
		農園活動	デイサービス前庭農作物作り				
		ボランティア	天草市介護ボランティア事業受入れ				
		誕生会	利用者様の誕生日に実施				
		施設内勉強会	感染症対策委員会、安全管理委員会、運営会議、等				
年間行事							
年	月	地域、施設関係	参加	入居者行事	参加	職員研修	
令和3年	4月	消防設備点検（6日）	担当	花見ドライブ	中止	虐待防止研修	
				運動会	中止		
	5月	合同消防訓練（27日）	4名	菖蒲湯（4月29日～5月5日）		感染症対策研修	
				こどもの日会（5日）	31名	（食中毒）	
				母の日会（5、6日）	56名		
	6月	集団指導（21日）	担当	父の日会（18、19日）	67名	サービス向上研修	
	7月	東中学校体験学習	中止	七夕会（7日）	31名	認知症研修	
				そうめん流し	中止		
				スイカ割り（26日）	25名		
	8月	夏祭り	中止	夏祭り	中止	事故防止研修	
				ぶどう狩り	中止		
	9月	防災訓練	中止	敬老会（20～22日）	88名	苦情解決研修	
				おはぎ作り	中止		
	10月	下浦秋祭り	中止	下浦まつり、獅子舞見学	中止	感染症対策研修	
		消防設備点検	担当	運動会（11～13日）	89名	（インフルエンザ等）	
				おやつ会	中止		
				秋祭り（21～23日）	94名		
	11月			文化祭（作品展示のみ実施）		身体拘束研修	
	12月	クリスマスイルミネーション点灯式（1日）		餅つき（21日）	31名	事故防止研修	
				クリスマス会（24、25日）	65名		
				ゆず湯（16～22日）			
		合同消防訓練（9日）	4名	天草吹奏楽団訪問	中止		
				忘年会	中止		
令和4年	1月	避難訓練（利用者・職員）	中止	初詣（3～6日）	31名	接遇研修	
				新年会	中止		
				落語会	中止		
	2月	下浦ふるさと祭り	中止	節分・豆まき（3日）	27名	褥瘡研修	
				バレンタインケーキ作り	中止		
	3月	ワックス掛け（30日）		ひな祭り（3日）	28名	B C P 研修	
				彼岸ばた餅づくり	中止		
				花見ドライブ（29、30日）	43名		

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期の影響により、下浦地域の催事及び関係団体との交流は中止となりました。当事業所の主催行事についても厚労省指針及びグループ感染症対策により、マスクをはずし大人数で飲食の伴う行事など感染リスクの高い企画は中止しました。

IV 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

新型コロナ感染症のワクチンの3回目接種も入居者様、当施設スタッフはほぼ1月には終了いたしましたでしたが、オミクロン株による第6波は天草でも医療機関・保育施設・高齢者施設においてクラスターが発生し、グループでも感染対策を強化してきました。本年度も新型コロナの感染対策で計画の事業、施設の運営は大きな影響を受けました。グループ施設内入居者に感染者が出なかったことは正直胸をなでおろしているところです。

1、感染症対策の強化について

ワクチン接種は1月にはほぼ3回目接種も済ませました。対策として日常的感染予防はもちろん県のリスクレベルに合わせ、まん延防止等重点措置発令中は行事等の開催自粛・縮小、面会に関しても原則窓越し面会とし、解除時はワクチンパッケージでの対面面会としました。また2月には厚労省・県の要請に基づき定期的な「抗原定性検査」を実施しました。業務継続計画（BCP）に関しては具体化し、再検討していく必要があるかと思っています。

2、職員の満足と資質の向上について

研修に関して、全職員対象に「動画研修/メディパス」を取り入れましたが、不十分な結果だったと反省しております。ユニットリーダー研修・喀痰吸引研修には各2名受講していますが、コロナの影響で実地研修が未実施で資格取得には至っていません。その他熊本県社会福祉協議会主催の「相談援助面接の基本」「アンガーマネジメント」等6件程オンラインで研修参加しています。処遇面では引き続き「特定処遇改善加算」取得し平均11,000円、令和4年2月から「介護職員処遇改善支援補助金事業」にて平均7,500円程度の処遇改善を図ることができました。本年度「介護ロボット補助金事業」を利用し、移乗支援ロボットを導入いたしました。移乗時の介護負担軽減に職員の満足度も高く、引き続き購入を検討しているところです。

3、選ばれる施設運営について

定員充足率99.2%は複合施設の強みで順調な運営ができたと思っています。コロナ禍において面会・行動の制限は入居者様には残念ながら「寂しい・窮屈な想い」をさせたかと思います。ご家族様には写真、ラインを使って定期的な報告等行ってきました。看取りについては13名の退居者の内12名の利用者の方が施設での看取りを希望して下さいました。今後も内容の充実を図っていききたいと思います。

4、地域との関わりについて

昨年度に引き続きコロナ禍の影響を受けた年度となりました。運営推進会議は年6回開催し、まん延防止発令中の4回は資料配布とし、「ふれあい弁当事業」も11月は実施できましたが3月は中止となりました。地区老連の開杯グランドゴルフも中止となりました。広報誌「ハッピーロード」は定期に発行し、入居者ご家族・地区のコミュニティーセンター・グループ施設に掲示させて頂きました。

特別養護老人ホーム聖和園 令和3年度 行事報告書				
年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和3年	4月	花見	花見、鯉のぼり	虐待防止対策研修（井上）（8日）
			新型コロナワクチン接種（1回目）	
			誕生会	
	5月	開会・聖和会合同消防訓練（27日）	菖蒲湯	食中毒対策研修（寺本）（13日）
		下浦地区社会福祉協議会総会（資料）	母の日	
		運営推進会議（資料）	誕生会	
	6月	ボランティア市道清掃（中止）	父の日	停電・台風対応研修（井上）（10日）
			新型コロナワクチン接種（2回目）	
			誕生会	
	7月	開杯グランドゴルフ大会（中止）	七夕	看取り介護研修（大塚）（8日）
		運営推進会議（15日）	誕生会	
		天草特養連絡協議会（資料）		
		1号館家族会（中止）		
	8月	開会・聖和会合同夏祭り（中止）	スイカ割り大会	権利擁護研修（大塚）（12日）
			迎え送り団子作り	
			誕生会	
	9月	ボランティア市道清掃（中止）	敬老会	苦情解決研修（金子）（8日）
		運営推進会議（資料）	十五夜、お茶会	
		3号館家族会（中止）	誕生会	
	10月	下浦秋祭り（中止）	運動会	天特連研修会（中止）
		天草准看護学校実習受入（26、28、29日）	誕生会	感染対策（インフルエンザ・ノロウイルス）研修（大塚）（14日）
		2号館家族会（中止）		
	11月	ふれあい弁当事業（5日）	開設記念行事	天特連研修会（中止）
		開設8周年記念行事（20日）	インフルエンザ予防接種	身体拘束研修（大塚）（11日）
		運営推進会議（18日）	誕生会	
	12月	開会・聖和会職員忘年会（中止）	ゆず湯・クリスマス会	事故防止研修（井上）（9日）
		開会・聖和会合同消防訓練（9日）	忘年会	
			誕生会	
令和4年	1月	運営推進会議（資料）	初詣・新年会・七草粥	接遇研修（柿原）（13日）
			新型コロナワクチン接種（3回目）	
			誕生会	
	2月	下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき	褥瘡研修（看護）（10日）
		ふれあい弁当事業（中止）		
			誕生会	
	3月	運営推進会議（資料）	ひな祭り	看取り介護研修（井上）（10日）
			お茶会	
			花見、ドライブ	
			誕生会	
※ 月1回、施設職員による消防訓練を実施				
※ 天草市「介護あんしん相談員派遣事業」は廃止				
※ 地域共同行事及び協議会・外部研修などは新型コロナウイルス感染流行期にあり、中止となった。				

V 有料老人ホーム桜の園

「明るい老後を目指して」の理念の下で、入居なされた方々の「新しい家庭」として、一日一日の生活を安心して楽しく過ごしていただけるよう「お食事へのこだわり」と「天然温泉に入ることができるしあわせ」をサービスの柱として事業運営をすすめました。また、この1年間は、高齢化にともなう長期入院やご逝去により利用者様が退所される事例も多く、その後、新たな入居者様を迎えることとなりました。

1. 現状の入居者様の高齢化、要支援、要介護の度合いの高まりをふまえ、日常生活で必要とされる介護サービスに応じた説明、関係機関への案内を適切に行えるようグループ法人内での情報共有に努めました。

2. 入居者様のADL低下をふまえ、火災や地震など大規模災害及び利用者様の不慮の事故、健康悪化時に緊急かつ的確に対応できるようスタッフ配置、対応職員のスキルアップを図ることも大きな課題となりました。

3. 長引くコロナ禍の下で、新型コロナウイルス感染症から利用者様を守るため、日常的な感染予防を徹底しました。一方で、利用者様が安心して外出を楽しまれる方法や支援の在り方、ご家族様・ご友人との面会の方法については、今後の大きな課題となりました。

4. 当ホームは開設以来、数度の消費増税及び人件費増加に対しても利用料は据え置き、全て施設側の負担で事業運営を行ってきました。しかし、今後、長期に安定して施設運営を図るためには、大規模修繕費用の財源確保等が必要不可欠な状況です。入居者様・ご家族様とサービス内容及び利用料見直しの話し合い（懇談会）をすすめることが課題となっています。

（令和3年度行事報告）

- 入居者様の誕生日には、夕食時にケーキを提供し入居者様、職員全員でお祝いをしています。
- 春夏秋冬に応じた飾付や行事食で季節感を感じていただけるよう工夫することができました。
- 父の日、母の日、敬老の日には感謝の気持ちを込めた行事食を提供しています。
- 新型コロナウイルス感染流行期で外出できない期間も、ホームに隣接する桜の下で、昼食時に花見会を実施することができました。
- 11月の第3木曜日、世界中のワイン愛好家が心待ちにしている「ボジョレー・ヌーヴォー」の解禁日にあわせて試飲会を開催することができました。

各施設の入居利用者状況推移表（5年間）					
1 ケアハウス聖和園					
（項目）	平成30年 （2018） 4月現在	平成31年 （2019） 4月現在	令和2年 （2020） 4月現在	令和3年 （2021） 4月現在	令和4年 （2022） 4月現在
男性	8	9	8	8	10
女性	42	41	40	42	40
計	50	50	48	50	50
体験入居	0	0	1	0	0
合計	50	50	49	50	50
自立	8	6	5	7	6
要支援1	2	3	7	6	5
要支援2	13	18	15	8	6
要介護1	14	7	9	17	23
要介護2	9	11	11	10	8
要介護3	4	3	1	2	1
要介護4	0	2	1	0	0
計	50	50	49	50	49
入居者平均年齢	91.2	91.5	91.8	90.1	89.5
2 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園					
（項目）	平成30年 （2018） 4月現在	平成31年 （2019） 4月現在	令和2年 （2020） 4月現在	令和3年 （2021） 4月現在	令和4年 （2022） 4月現在
男性	5	6	7	9	7
女性	24	22	22	20	22
計	29	28	29	29	29
要支援	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0
要介護3	2	4	5	5	3
要介護4	18	16	15	12	16
要介護5	9	8	9	12	10
平均	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
入居者平均年齢	89	89	90	90	90
平均入居日数	956	939	965	1047	997
3 有料老人ホーム桜の園					
（項目）	平成30年 （2018） 4月現在	平成31年 （2019） 4月現在	令和2年 （2020） 4月現在	令和3年 （2021） 4月現在	令和4年 （2022） 4月現在
男性	10	9	5	5	5
女性	11	12	15	15	13
計	21	21	20	20	18
自立	7	6	4	4	4
要支援1	2	2	3	1	1
要支援2	5	3	4	5	6
要介護1	5	5	6	5	3
要介護2	1	3	3	5	4
要介護3	1	2	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0
計	21	21	20	20	18
入居者平均年齢	88.5	87.2	88.2	89.2	88.3

令和4年度
事業報告書

令和4年度 社会福祉法人聖和会事業報告

1 法人運営について

令和4年度は法人設立30周年の節目の年を迎えるにあたり、下浦地域の住民の皆様をはじめ多くの利用者様、ご家族様、お取引関係者の皆様のご支援、ご協力に感謝し、いっそう信頼される法人・施設・事業所を目指し、事業運営をすすめてまいりました。

一方、令和5年2月末には開会・聖和会の創設者であり現職の聖和会理事長の死去に伴い、3月臨時理事会において新理事長が選定されました。職員、理事、監事、評議員はもとより、多くの関係者の皆様の支援と協力により、次世代の事業継承を着実に進めています。新理事長の就任あいさつ及びグループ職員訓示をふまえ、今一度、法人創設の理念に立ち返り、「個人の尊厳を守ること」「経営の充実及び拡大」「信頼される組織づくり」の3つを柱に医療・福祉・介護の複合法人の強みを活かし「天草に聖和会、開会あり」と信頼される法人運営に取り組んでいます。

令和4年度の法人運営にあたっては長引くコロナ禍で「自らが感染しない。ウイルスを持ち込まない。」との基本方針の下、利用者・ご家族様及び職員の安心・安全なサービス提供を最優先に感染対策の徹底に努めてまいりました。円安不況、国際情勢などの影響により光熱水費、ガソリン・重油などの燃料費、食材費、生活必需品が高騰する中、嵩み増し経費による法人財政ひっ迫の状況は、2025年問題など少子化及び超高齢化社会への対応も含めて、法人運営の中長期的な課題となっています。

社会福祉法人には、本来、地域の福祉ニーズに対して、先駆的・実験的に取り組む役割が期待されており、また、地域社会の中で生活していくために必要なサービスを受けられない方が生じないよう関係者と連携の中で問題を発見し、対応していくことが求められています。

しかしコロナ禍の下、現状ではこうした社会福祉法人の役割や機能を充分には果たし得ていないという状況が指摘されています。今一度、社会福祉法人の役割（存在意義）とそれを果たすことの必要性を確認し、その機能強化を図ることが大きな課題となっています。

こうした状況の下、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行することから、高齢者施設の感染対策、福祉サービスの在り方も大きな転換点となります。Withコロナ社会の中で、入居者様、ご家族様及び地域住民の皆様と協力し、利用者様への対面面会、地域行事への参加、交流機会の確保など、安心・安全に実施できる環境づくりが求められています。

法人理念である「高齢者が健康で生きいきと暮らし、住み慣れた地域でともに支え合い、自分らしい生活を営むことができる地域共生社会の実現」を具体化するためには、開内科医院をはじめとしたグループ各施設・事業所との連携、協力は欠かせません。

法人創設時の理念をふまえ、要望・苦情など利用者・ご家族様のお声を真摯に受けとめてサービス提供に活かせる職場づくり、職員の意識向上、地域住民の皆様が気軽に困りごとやニーズを相談できる窓口の充実、そうした情報をグループ全体で共有し、ニーズにあった施設・事業所を紹介できる組織体制の確立をすすめることが喫緊の課題といえます。

1. 理事・監事・評議員が高齢者福祉についての問題意識を持ち、理事会・評議員会がそのことについての実質的な審議の場となるように取り組む。

今後、超高齢化社会を迎えるにあたって、各議案審議について理事及び評議員の皆様の様々な立場からの工夫や問題意識を積極的に表明して頂きました。日常的な事業運営にあたってはコロナ禍での施設・事業所運営の在り方や利用者様はもとより家族、地域住民の皆様との交流や意見交換等の重要性に鑑み、各種協議会や家族面会、地域事業の際に意見聴取を継続してすすめてきました。

2. 当法人が、社会福祉法人として主体性を持ち自律的な経営ができるようにしていくために必要な、役員としての役割を確認する意味でも、役員研修会に積極的に参加し、意識の向上に努める。

法人本部を中心に厚労省や社会福祉法人経営者協議会の研修資料に基づいて、2025年問題をふまえた社会福祉法人の在り方や経営戦略について学び、中長期的なプロジェクト（案）を策定し取り組みをすすめています。

3. 地域共生社会の実現に向けた施設作りという観点から、地区振興会、地区社会福祉協議会等の地域団体との連携を強め、地域における問題点や改善策を拾い出し、同時に地域福祉の向上に努める。また、感染対策及び防災対策の強化を図り、地域と連携し、地域の防災拠点としての機能の充実に努めるよう推進していく。

法人本部をはじめ各管理者が県や天草市、各種協議会が主催する研修会（主にWEB研修会）に参加し、新型コロナ感染症対策やBCP（事業継続計画）、人事制度、職員採用制度について、研修内容に基づき具体化を図っています。防災対策については、下浦地域コミュニティセンターや地域消防団との連携等の協議開始が課題となっています。

4. 年2回の定時理事会（5月、3月）及び定時評議員会（6月、3月）を開催し、第1回定時理事会においては、事業報告及び決算報告等を行い、第2回定時理事会においては、事業計画及び予算を主題とした理事会を開催し、各定時評議員会において承認を行う。また、必要が生じた場合は理事会・評議員会を随時開催・審議し、法人の適正な運営に努める。

第1回定時理事会	令和4年6月 8日（令和3年度事業報告、令和3年度決算等）
理事会	令和5年3月10日（理事候補者の選任 書面決議）
臨時理事会	令和5年3月15日（新理事長の選定）
第2回定時理事会	令和5年3月15日（令和5年度事業計画、収支予算等）
第1回定時評議員会	令和4年6月23日（令和3年度決算ほか）
臨時評議員会	令和5年3月13日（理事の選任 書面決議）
第2回定時評議員会	令和5年3月22日（令和5年度事業計画、収支予算等）
監事監査	令和4年6月 1日（令和3年度決算）

5. 内部管理体制の整備を行い、経営・リスク管理・コンプライアンス等の状況を把握するとともに、適正な法人運営に向けて意見交換を図り、相互認識を深め、適宜改善に向けて努力する。

令和4年度は開設以来初めてとなる有料老人ホーム桜の園に対する県高齢者支援課の立入調査（介護サービス事業所の実地指導にあたるもの）が実施されました。指導内容に基づいて「運営懇談会」の設置、桜の園に従事する者の勤務表の明確化等の改善を図りました。

6. 令和4年度に迎える聖和会創立30周年記念に向けて、地域に還元できる企画を含めたイベントを計画し、実行委員会を立ち上げ開始する。

令和4年12月期に創刊された「天草市老連だより」表紙に協賛団体として「社会福祉法人聖和会」としての広告宣伝を行いました。一方、新型コロナウイルス感染症流行期にあり、企画検討、実施が不十分な結果となったため、グループ法人とも連携し中長期的プロジェクト(案)として、引き続き、実現可能な取り組みの具体化を図ります。

7. 経理処理については公認会計士による点検及び評価を受け、法令及び基準に則り適正に処理されていることの確認を行う。

令和4年6月20日に実施された社会福祉法人指導監査担当職員研修会（オンライン）に法人本部職員が参加しました。引き続き、熊本県及び天草市の指導監査の助言・指導や公認会計士のアドバイスをふまえ、法令及び法人規定に基づく適正な経理処理に努めます。

平成31年に入居者から遺贈された固定資産（家屋、土地）については、今後、社会福祉事業・公益事業・収益事業に活用できる見通しがなく、かつ、遠方地にあり日常的に安全な保全・管理が困難であることから、適正に処分することが大きな課題となっています。

8. 新型コロナウイルス感染症の対応について

（1）ケアハウス聖和園

令和4年8月18日～8月31日 感染者（入居者2名、職員1名）濃厚接触入居者13名

令和4年9月26日～10月9日 感染入居者3名、濃厚接触入居者9名

令和5年1月13日～1月25日 感染入居者3名、濃厚接触入居者5名

（2）デイサービスセンター聖和園

令和4年4月～令和5年3月まで 感染者（在宅利用者2名、職員2名）家庭内感染

（3）有料老人ホーム桜の園

令和5年1月24日～2月10日 感染者（入居者3名、職員1名）濃厚接触入居者5名

（4）特別養護老人ホーム聖和園

令和4年4月～令和5年3月まで 感染者（入居者0名、職員10名）家庭内感染

※ 感染流行第7波及び第8波の影響により新型コロナウイルス感染症が発生しました。入居施設においては、発生後の開内科医院での一時隔離や感染者の個室隔離、濃厚接触者の居室待機などの感染対策で、クラスター発生は防ぐことができました。特養聖和園では「入居者感染0名」を達成しました。一方、入居者面会は重篤・看取り期を除き、全て「窓越し面会」での対応となり、Withコロナに向けた事業運営の課題となっています。

II ケアハウス聖和園

「明るい老後を目指して」の理念に基づき、施設生活の入り口とも言うべきケアハウスでの生活が、ご本人の状況に合わせて自分らしい生活を維持できる様、施設運営に心掛けてまいりました。また、高齢者の医療・介護を配置した複合施設として、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、お一人お一人に寄り添って、安心感を抱いていただき「ここにきてよかった」と思っただけの施設作りに尽力してまいりました。

1. 入居者が気持ちよく安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

築30年が経過し建物及び設備の不具合が生じています。令和4年度は廊下等の共有スペース大型エアコン・室外機の不具合部分の改修を行いました。壁面・屋上部分の雨漏り箇所の改修、火災や緊急災害時の避難経路確保も含めた中庭の大規模整備等の案件が課題となっています。

2. 入居者の体調・精神面の変化に留意し、健康で安全な生活をしていただけるように努める。

入居者の高齢化やADL低下も見られる中で、グループ法人の開医院や通所リハビリ、ホームヘルプ、デイサービスとも連携し、暮らしぶりや体調変化などの情報共有、日常的な健康管理に留意した支援を行いました。引き続き、新型コロナウイルス感染者の居室療養支援時の対応、夜間等の体調不良や急変時の対応など、開医院との連携方法を協議し早期に具体化を図ることが課題です。

介護サービス事業所の「科学的介護情報システム（LIFE）」の構築に伴いグループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマンMeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

3. 入居者に満足していただける食事を提供する。

入居者様は基本的に自力で食事を楽しまれます。体調不良時にあたっては開医院や栄養士・管理栄養士の指導の下で入居者様の体調をふまえた食事形態も提供できるよう努めます。一方、高齢者の皆様が喜んでいただける献立については、嗜好や日常的な食べ残し調査結果等も活用し、様々な職種（役割）との意見交換を活発に行いいっそう食事サービス提供の向上を図ります。

4. 入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

本人のニーズを的確に把握し各担当ケアマネと連携し、入居者様に必要となるサービス内容を案内できるよう支援を行いました。引き続き、利用中のホームヘルプ、通所リハビリ、デイサービスの各事業所との連携をいっそう深め、日常生活が快適に過ごせるように努めます。

5. 四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わっていただく。

コロナ禍で外出機会が少なくなっている点もふまえ、施設行事や食事サービスにより季節感を感じていただけるよう工夫を図りました。

6. 入居者と職員の信頼関係をつくる。

日常的な支援を通じて、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めました。ご意見箱の設置なども含めて、日常のお困りごとや不安に思っている点も把握できるよう努めています。

7. 職員の資質向上を目指し、楽しく仕事ができる環境を作る。

引き続き課題別の研修実施はもとより、施設行事の開催にあたっては職員も入居者様と一緒に楽しめる企画となるよう工夫を図ります。

ケアハウス聖和園 令和4年度 行事実施状況報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	消防訓練（夜警者）	花見	虐待防止研修
		ハウス創立30周年記念日（15日）	誕生会（24日）	職員会議・入居者処遇会議（24日）
	5月	合同消防訓練（24日）	菖蒲湯（5日）	感染症対策研修（食中毒）
		非常灯取替え（9日）	母の日（バラの湯）（8日） 誕生会（24日）	職員会議・入居者処遇会議（24日）
	6月		父の日（19日） ひらやま衣料品店出張販売（中止） 新型コロナワクチン接種（4回目） 誕生会（24日）	停電・台風対応研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
			七夕	看取り介護研修
	7月		誕生会（24日）	職員会議・入居者処遇会議（24日）
	8月	夏祭り（中止）	夏祭り（中止） 誕生会（24日）	事故防止研修 職員会議・入所者処遇会議（24日）
令和5年	9月	敬老会	敬老会（19日） 下浦敬老会 十五夜、お茶会 誕生会（24日）	苦情解決研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	10月	下浦秋祭り（中止）	下浦秋まつり（16日）施設行事 ひらやま衣料品店出張販売（17日） 誕生会（24日）	感染症対策研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	11月	大浴場配管洗浄（26日）	開設記念行事 インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン接種（5回目） 誕生会（24日）	身体拘束研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
令和5年	12月	Xmasイルミネーション点灯式（1日） 合同消防訓練（13日） 永年勤続表彰（20日） 開会・聖和会職員忘年会（中止）	ひらやま衣料品店出張販売 ゆず湯（22日） クリスマス会・誕生会（24日） 忘年会（30日）	事故防止研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	1月	廊下エアコン工事（5日）	初詣・初湯（2日） 新年会・七草粥 誕生会（24日）	接遇研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
令和5年	2月	下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき（3日） バレンタインデー（14日） 誕生会（24日）	褥瘡研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	3月	カーテンクリーニング（1日）	ひな祭り（3日） 花見（29日）ドライブ（随時） ホワイトデー 誕生会（24日）	看取り介護研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）

Ⅲ デイサービスセンター聖和園

通所介護事業所としての役割や当センターの特徴を活かし、利用者様に必要な日常生活上の支援及び機能訓練を中心に事業運営をすすめてまいりました。利用者様が安心してご利用いただける環境改善として送迎車輛の新規整備を図りました。クリーンエネルギー補助金を活用し電気自動車（蓄電池装置含む）1台を大規模災害時での保安電源確保も含めて導入しています。

1. 利用者様の体調や要介護等の心身特性を踏まえて、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助等日常生活上必要な支援及び機能訓練をすすめました。

2. 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう目標を設定し、計画的にその提供を行いました。特に複合施設の利点を生かし利用者様が安心して、快適に過ごして頂けるようグループ施設間の連携に努めました。

3. 年度途中で利用者様の長期入院やご逝去に伴い利用者数の減少が顕著となったことをふまえ、サービスを必要とされる利用者様を幅広く受け入れるため、居宅介護支援事業者、包括支援センター、その他保健医療サービス及び福祉サービス提供者への広報活動を行いました。引き続き、要介護、要支援双方の利用者獲得が課題となっています。

4. 感染症・災害対策・地域との連携について、感染症対策については、新型コロナウイルスに通所利用者様2名、職員2名が散発的に感染しましたが、事業所での大規模クラスターは防ぐことができ、「自らが感染しない、ウイルスを持ち込まない。」の対策の効果と評価できます。

一方、入居施設利用者の感染者の一時隔離場所としてデイサービス棟を使用したこと、また、濃厚接触者も含めて利用制限となったことにより大幅減収減の影響もありました。

災害対策については、下浦地域との連携や利用中の利用者の避難方法等の具体化が課題となっています。Withコロナの下、感染予防策については、老朽化による経年劣化が著しい空調設備の更新及び狭隘スペースとなるテーブルの更新が課題となっています。

5. 職員への伝達及び確認を徹底し、円滑な業務が継続できるよう徹底しました。また、ライフスタイルに合わせた働き方の実践など、職員が働きやすい職場環境づくりに努め、最低年5日の年休消化を必須とし、より多くの有給休暇の取得を実現しました。

6. 介護サービス事業所「科学的介護情報システム（LIFE）」の構築に伴い、グループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

デイサービスセンター聖和園 令和4年度行事実施状況報告

1 定例行事

利用日	送迎、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練、口腔ケア、機能訓練
毎 月	料理づくり、体力測定、外食、おやつ作り (ゲーム)：風船バレー、ボール渡し、カラオケ、その他 (製作活動)：手工芸、折り紙、ちぎり絵、ぬり絵、習字、脳トレ、等 (農園活動)：ふれあい農園(デイサービス前) (ボランティア)：天草市介護ボランティア事業受入れなど (誕生会)：利用者様の誕生日に実施 (委員会)：感染症対策委員会、安全衛生委員会、虐待防止委員会、等

2 年間行事

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	消防設備点検	花見ドライブ(3月に実施済) かし見物(中止)	虐待防止研修 職員会議(11日)
	5月	合同消防訓練(24日)	菖蒲湯(2日～5日) こどもの日会(4日～6日) 母の日会(9～11日)	感染症対策研修(食中毒) 職員会議(9日)
	6月	集団指導(24日)	開設23周年記念日(1日) 父の日会(17～18日)	サービス向上研修 職員会議(13日)
	7月		七夕会(7日) そうめん流し(中止) スイカ割り(26日)	認知症研修 職員会議(11日)
	8月	夏祭り	夏祭り(9～11日) ぶどう狩り(中止)	事故防止研修 安全運転管理者研修(5日) 職員会議(8日)
	9月	防災訓練	敬老会(19～21日)	苦情解決研修 職員会議(中止)
	10月	下浦秋祭り(中止) 消防設備点検 支援学校実習(17日～28日：1名)	下浦まつり、獅子舞見学(中止) 運動会(20日) 秋祭り(中止)	感染症対策研修(インフルエンザ等) 職員会議(17日)
	11月		文化祭(作品展示のみ実施) ドライブ(14日～16日)	身体拘束研修 職員会議(21日)
	12月	クリスマスイルミネーション点灯式(1日) 合同消防訓練(13日) 永年勤続表彰(20日)	餅つき(28日) クリスマス会(23、24日) ゆず湯(22日) 忘年会(中止)	事故防止研修 職員会議(中止)
令和5年	1月	避難訓練 (利用者・職員) 職業紹介Webライブ(23日)本渡東中1年生対象	初詣(3～5日)	接遇研修 職員会議(中止)
	2月	下浦ふるさと祭り(中止)	節分・豆まき(1～3日)	褥瘡研修 職員会議(20日)
	3月	ワックス掛け(30日)	ひな祭り(2～3日) 未来大橋ドライブ(8～10日) 花見ドライブ(28～30日)	B C P研修 職員会議(6日)

Ⅳ 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

新型コロナウイルス感染症も5月8日以降「5類」に移行される予定となっています。「第8波」においては当施設も職員の感染拡大でサービスの制限をせざるを得ない状況もありました。幸いにも施設入居者様に感染が拡大しなかったのは職員の日常的な感染予防・対策の効果だと評価できます。次年度も安定した施設運営には感染対策が欠かせないものと言えます。支出面ではエネルギー高騰に「水道光熱費」、開設9年経過で設備の「修繕費」増額となっています。次年度は10周年を迎えることから、次の10年を見据えた予算化を図る必要があります。

1、感染症対策の強化について

令和4年秋口からの新型コロナウイルス感染症「第8波」においては職員の感染も多く、業務の制限をせざるを得ない日が数日あり、入居者様にはご迷惑をお掛けすることとなりました。一方、入居者様への感染拡大を防ぐことができたことは感染対策の効果でもあります。「5類」へ移行されますが、ウイルス自体の感染力は強く高齢者、基礎疾患を有する方が感染した場合の重症化のリスクは依然高いことから、高齢者・介護施設として安心・安全なサービス提供に向けた感染症対策が引き続き求められています。

2、職員の満足と資質の向上について

職員の充足についてあと1名のところまで確保できています。「移乗支援ロボット」は2台目を購入し、次年度は別タイプのロボット、個浴のリフト化を図り職員の負担軽減を図ります。外部研修は「介護ロボット導入研修」「モチベーションアップ研修」等への参加、ユニットリーダーは2名実地研修を受講し資格を取得しました。処遇面では「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」「介護職員等ベースアップ等支援加算」を取得し処遇改善を図りました。

また、介護サービス事業所「科学的介護情報システム（L I F E）」の構築に伴いグループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

3、選ばれる施設運営について

定員充足率99.2%（昨年度99.2%）、退去16名中12名のご家族が施設での看取りを希望して頂きました。これは医療との複合施設として信頼して頂いている結果だと評価できます。ご家族の面会では終末期は「対面」、感染流行下においては「窓越し面会」、施設独自にはLINE等のSNSを活用して暮らしぶりの情報提供を継続して行ってきました。「窓越し面会」で入居者様、ご家族様に寂しい想いがあることを施設全体での大きな課題として、次年度は「5類」移行も見据えて対面面会が実現できるよう様々な工夫、改善を図る必要があります。

4、地域との関わりについて

運営推進会議は5、7、9、3月の4回を集合・対面で開催できました。一方、11月、1月については「第8波」の影響により資料配布で開催し運営状況の報告を行いました。「ふれあい介当事業」は11月、3月の2回支援できました。地区老連の開杯グラウンドゴルフは中止となりました。災害時「福祉避難所」の設置依頼はありませんでした。広報誌「ハッピーロード」は4、8、12月に発行し、ご家族・地区のコミュニティーセンター・グループ施設に掲示させて頂きました。

特別養護老人ホーム聖和園 令和4年度 行事報告書

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	花見	花見 鯉のぼり 誕生会	虐待防止対策研修（井上）（14日）
	5月	開会・聖和会合同消防訓練（27日） 下浦地区社会福祉協議会総会（資料） 運営推進会議（19日）	菖蒲湯 母の日 誕生会	食中毒対策研修（寺本）（12日）
	6月		父の日 誕生会 新型コロナワクチン接種（4回目）	停電・台風対応研修（井上）（9日） アンガーマネジメント研修（松山）（9日）
	7月	開杯グランドゴルフ大会（中止） 運営推進会議（21日） 天草特養連絡協議会（資料） 1号館家族会（中止）	七夕 流しそうめん 誕生会	看取り介護研修（中河原）（14日）
	8月	開会・聖和会合同夏祭り（中止）	夏祭り スイカ割 花火大会 誕生会	事故防止研修（井上）（11日）
	9月	ボランティア市道清掃（中止） 運営推進会議（15日） 2号館家族会（中止）	敬老会 下浦町敬老会 十五夜お茶会 誕生会	苦情解決研修（金子）（8日）
	10月	下浦秋祭り（中止） 天草准看護学校実習受入（25、27、28日） 3号館家族会（中止）	運動会 誕生会	天特連研修会（中止） 感染対策（インフルエンザ・ノロウイルス）研修（中河原）（13日）
	11月	ふれあい弁当事業（2日） 開設9周年記念行事（18日、20日） 運営推進会議（17日）	開設記念行事 インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン接種（5回目） 誕生会	天特連研修会（中止） 虐待防止研修（井上）（10日）
	12月	開会・聖和会職員忘年会（中止） 合同消防訓練（13日） 天特連連絡協議会（7日）	ゆず湯 クリスマス会 忘年会 誕生会	事故防止研修（井上）（8日）
	1月	運営推進会議（資料）	初詣・新年会・七草粥 新型コロナワクチン接種 誕生会	
令和5年	2月	下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき 誕生会	褥瘡研修（中河原）（9日）
	3月	運営推進会議（15日） ふれあい弁当事業（10日）	ひな祭り お茶会 花見、ドライブ 誕生会	看取り介護研修（井上）（9日）

※ 月1回、施設職員による消防訓練を実施

V 有料老人ホーム桜の園

「明るい老後を目指して」の理念の下で、入居なされた方々の「新しい家庭」として、一日一日の生活を安心して楽しく過ごしていただけるよう「お食事へのこだわり」と「天然温泉に入ることができるしあわせ」をサービスの柱として事業運営をすすめました。高齢化にともなう長期入院やご逝去により利用者様が退所される事例も続き、その後、新たな入居者様を迎えることとなりました。

1. 現状の入居者様の高齢化、要支援、要介護の度合いの高まりをふまえ、日常生活で必要とされる介護サービスに応じた説明、関係機関への案内を適切に行えるようグループ法人内での情報共有に努めました。
2. 入居者様のADL低下をふまえ、火災や地震など大規模災害及び利用者様の不慮の事故、健康悪化時に緊急かつ的確に対応できるようスタッフ配置、対応職員のスキルアップを図ることも大きな課題となりました。
3. 長引くコロナ禍の下で、新型コロナウイルス感染症から利用者様を守るため、日常的な感染予防を徹底しましたが、入居者3名、職員1名が感染したことにより濃厚接触者も含めて居室療養・待機となり外出や外部サービス利用を制限することとなりました。一方で、利用者様が安心して外出を楽しまれる方法や支援の在り方、ご家族様・ご友人との面会の方法については、今後の大きな課題となりました。
4. 当ホームは開設以来、数度の消費増税及び人件費増加に対しても利用料は据え置き、全て施設側の負担で事業運営を行ってきました。しかし、今後、長期に安定して施設運営を図るためには、大規模修繕費用の財源確保等が必要不可欠な状況です。そのため入居者様・ご家族様とサービス内容及び利用料見直し等の話し合いの場として運営懇談会を設置しました。今後、利用料改定に向けて具体的な手続きをすすめることが課題となっています。
5. 介護サービス事業所「科学的介護情報システム（L I F E）」の構築に伴いグループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

（令和4年度行事報告）

- 入居者様の誕生日には、夕食時にケーキを提供し入居者様、職員全員でお祝いをしています。
- 春夏秋冬に応じた飾付や行事食で季節感を感じていただけるよう工夫することができました。
- 父の日、母の日、敬老の日には感謝の気持ちを込めた行事食を提供しています。
- 新型コロナウイルス感染流行期で外出できない期間も、ホームに隣接する桜の下で、昼食時に花見会を実施することができました。
- 11月の第3木曜日、世界中のワイン愛好家が心待ちにしている「ボジョレー・ヌーヴォー」の解禁日にあわせて試飲会を開催することができました。

有料老人ホーム桜の園 令和4年度 行事実施状況報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	消防訓練	花見	虐待防止研修
		消防設備点検	ドライブ	
		エレベーター点検（19日）		職員会議 （5日、13日、18日）
	5月	防犯カメラシステム更新（13日）	誕生会（1日、2名）	
		合同消防訓練（24日）	菖蒲湯（5日）	感染症対策研修（食中毒）
		浄化槽清掃（23日）	母の日（8日）	職員会議 （5日、13日、18日）
	6月		誕生会（22日）	
		消防設備点検（8日）	父の日（19日）	停電・台風対応研修
	7月	浄化槽点検（22日）	新型コロナワクチン接種（4回目）	職員会議 （5日、13日、18日）
		エレベーター点検（12日）	七夕（7日）	看取り介護研修
	8月	消防署立入調査（29日改善確認）		職員会議 （5日、13日、18日）
		夏祭り	夏祭り（28日）	事故防止研修
令和5年	9月	県高齢者支援課立入調査（29日）		職員会議 （5日、14日、19日）
			誕生会（1日、5日）	
		下浦敬老会（中止）	敬老会（19日）	苦情解決研修
	10月	浄化槽点検（26日）	十五夜、お茶会（10日）	職員会議 （5日、13日、18日）
			誕生会（1日）	
		下浦秋祭り（中止）		感染症対策研修 （インフルエンザ等）
	11月	エレベーター点検（7日）		職員会議 （5日、13日、18日）
		無線LAN工事（25日）	誕生会（12日、13日）	
			ボジョレーヌーボー会（18日）	身体拘束研修
	12月	エレベーター点検	インフルエンザ予防接種	職員会議 （6日、13日、19日）
		建築基準法建物調査（25日）	新型コロナワクチン接種（5回目）	
		Xmasイルミネーション点灯式（1日）	ゆず湯（22日）	事故防止研修
令和5年	1月	非常口バッテリー交換（20日）	クリスマス会（24日）	
		合同消防訓練（13日）	誕生会（14日、29日）	職員会議 （6日、13日、19日）
		永年勤続表彰（20日）	忘年会（30日）	
	2月	職員忘年会（中止）		
		エレベーター修理点検（16日）	初詣、初湯（2日）	接遇研修
		給湯器修理（23日）	新年会（元日）・七草粥（7日）	職員会議 （6日、14日、20日）
	3月		誕生会（29日）	
		下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき（3日）	褥瘡研修
		桜の園開設14周年記念（1日）	バレンタインデー（14日）	職員会議 （6日、14日、20日）
令和5年	3月	エレベーター修理点検（21日）	誕生会（5、13、18、28日）	
		カーテンクリーニング（3日）	ひな祭り（3日）	看取り介護研修
			花見（29日）、ドライブ（随時）	
令和5年	3月		ホワイトデー（14日）	職員会議 （6日、14日、20日）
			誕生会（10、19、30、31日）	

※ 毎月1回、夜警者による消防訓練を実施する。

各施設の入居利用者状況推移表

1 ケアハウス聖和園

(項目)	平成31年 (2019) 4月現在	令和2年 (2020) 4月現在	令和3年 (2021) 4月現在	令和4年 (2022) 4月現在	令和5年 (2023) 4月現在
男性	9	8	8	10	14
女性	41	40	42	40	33
計	50	48	50	50	47
体験入居	0	1	0	0	0
合計	50	49	50	50	47
自立	6	5	7	6	7
要支援1	3	7	6	5	5
要支援2	18	15	8	6	5
要介護1	7	9	17	23	19
要介護2	11	11	10	8	9
要介護3	3	1	2	1	1
要介護4	2	1	0	0	1
計	50	49	50	49	47
入居者平均年齢	91.5	91.8	90.1	89.5	89.1

2 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

(項目)	平成31年 (2019) 4月現在	令和2年 (2020) 4月現在	令和3年 (2021) 4月現在	令和4年 (2022) 4月現在	令和5年 (2023) 4月現在
男性	6	7	9	7	7
女性	22	22	20	22	22
計	28	29	29	29	29
要支援	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0
要介護3	4	5	5	3	2
要介護4	16	15	12	16	18
要介護5	8	9	12	10	9
平均	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
入居者平均年齢	89	90	90	90	92
平均入居日数	939	965	1047	997	913

3 有料老人ホーム桜の園

(項目)	平成31年 (2019) 4月現在	令和2年 (2020) 4月現在	令和3年 (2021) 4月現在	令和4年 (2022) 4月現在	令和5年 (2023) 4月現在
男性	9	5	5	5	5
女性	12	15	15	13	14
計	21	20	20	18	19
自立	6	4	4	4	3
要支援1	2	3	1	1	1
要支援2	3	4	5	6	6
要介護1	5	6	5	3	7
要介護2	3	3	5	4	1
要介護3	2	0	0	0	1
要介護4	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0
計	21	20	20	18	19
入居者平均年齢	87.2	88.2	89.2	88.3	90.1

4 デイサービスセンター聖和園 利用状況推移表

年度	サービス区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計	前年比	備考
平成29年度	通所介護	812	891	804	819	835	782	757	734	746	714	710	745	9,349	10,583	15	平成29年度中に予防から総合に完全移行
	総合事業	24	56	83	77	87	110	129	114	128	121	130	175	1,234			
平成30年度	通所介護	680	726	761	773	725	703	737	697	691	638	454	708	8,293	9,960	-623	1月31日～2月6日インフルエンザ感染により閉鎖
	総合事業	158	167	129	138	120	116	135	145	147	147	116	149	1,667			
平成31年度 (令和元年度)	通所介護	712	666	630	721	714	639	720	678	640	595	584	643	7,942	9,481	-479	機能訓練員不足により個別機能訓練加算がとれず減収
	総合事業	153	170	141	156	121	127	112	105	105	107	109	133	1,539			
令和2年度	通所介護	631	454	661	696	698	667	714	697	773	722	649	740	8,102	9,568	87	4月機能訓練員配置による加算、要介護者数増え増収
	総合事業	131	133	143	134	115	111	132	116	113	107	108	123	1,466			
令和3年度	通所介護	657	662	673	691	652	676	670	635	685	645	568	617	7,831	9,353	-215	利用者の高齢化に伴う長期入院及び逝去による利用者減
	総合事業	129	120	130	131	116	128	124	141	147	123	110	123	1,522			
令和4年度	通所介護	579	546	557	602	579	520	519	552	512	488	569	582	6,605	8,103	-1,250	入居施設利用者の感染発生による利用者減の影響大きい
	総合事業	119	131	130	116	124	111	117	150	140	115	104	141	1,498			

令和5年度
事業報告書

 社会福祉法人聖和会

令和5年度 社会福祉法人聖和会 事業報告

Ⅰ 法人運営について

令和5年度は設立31周年、創設者から新理事長へ次世代への継承元年となりました。

地域住民の皆様をはじめ多くの利用者様、ご家族様、お取引関係者の皆様のご支援に感謝し、この一年間、職員はもとより、理事、監事、評議員、多くの地域、関係者の皆様とともにいっそう信頼される法人・施設・事業所を目指し、次世代の事業継承に努めてまいりました。

新理事長の訓示等をふまえ、法人創設の理念に立ち返り、「個人の尊厳を守ること」「経営の充実及び拡大」「信頼される組織づくり」の3つを柱に医療・福祉・介護の複合法人の強みを活かし「天草に聖和会、開会あり」の知名度を高める法人運営に取り組みました。

法人全体の重点課題である新型コロナウイルス感染症対策については、昨年5月より「5類移行」の転換期を迎え、あらためて法人の基本方針として「自らが感染しない。ウイルスを持ち込まない。」感染対策を徹底しました。

また、Withコロナ社会の中で、入居者様、ご家族様及び地域住民の皆様と協力し、利用者様への対面面会の再開、地域行事への参加、交流機会の確保など、安心・安全に実施できる環境づくり、信頼されるサービス提供に努めてまいりました。

一方、円安不況、国際情勢などの影響により光熱水費、ガソリン・重油などの燃料費、食材費、生活必需品が高騰する中、嵩み増し経費による法人財政をひっ迫しています。2025年問題など少子化及び超高齢化社会への対応、医療・介護従事者の確保も含めて、引き続き、法人運営の中長期的な課題となっています。

さらに、令和6年3月には新型コロナウイルス感染症発生時の補助金が終了したため、感染対策に係る人件費、衛生用品費、廃棄物処理費など掛かり増し経費は、すべて各施設・事業所負担となります。感染流行期の感染対策の徹底が課題となっています。

社会福祉法人には、本来、地域の福祉ニーズに対して、先駆的・実験的に取り組む役割が期待されており、地域社会の中で生活していくために必要なサービスを受けられない方が生じないよう関係者と連携の中で問題を発見し、対応していくことが求められています。

また、法人理念である「高齢者が健康で生きいきと暮らし、住み慣れた地域でともに支え合い、自分らしい生活を営むことができる地域共生社会の実現」を具体化するためには、開内科医院をはじめとしたグループ各施設・事業所との連携、協力は欠かせません。

引き続き「天草市に聖和会、開会あり」の信頼される法人・施設・事業所をめざし、要望・苦情など利用者・ご家族様のお声を真摯に受けとめてサービス提供に活かせる職場づくり、職員の意識向上、地域住民の皆様が気軽に困りごとやニーズを相談できる窓口の充実、そうした情報をグループ全体で共有し、ニーズにあった施設・事業所を紹介できる組織体制の確立をすすめることが課題となっています。

1. 理事・監事・評議員が高齢者福祉についての問題意識を持ち、理事会・評議員会がそのことについての実質的な審議の場となるように取り組む。

理事及び評議員の皆様の様々な立場からの工夫や問題意識を共有し、法人と各地域での老人会、地域振興会との連携にも注力していただき、高齢者福祉の充実に向けた取組の具体化をすすめています。

2. 当法人が、社会福祉法人として主体性を持ち自律的な経営ができるようにしていくために必要な、役員としての役割を確認する意味でも、役員研修会に積極的に参加し、意識の向上に努める。

法人本部を中心に厚労省や社会福祉法人経営者協議会の研修資料に基づいて、2025年問題をふまえた社会福祉法人の在り方や経営戦略について学び、中長期的なプロジェクト（案）を策定し取り組みをすすめています。

3. 地域共生社会の実現に向けた施設作りという観点から、地区振興会、地区社会福祉協議会等の地域団体との連携を強め、地域における問題点や改善策を洗い出し、同時に地域福祉の向上に努める。また、感染対策及び防災対策の強化を図り、地域と連携し、地域の防災拠点としての機能の充実を図るよう推し進めていく。

法人本部をはじめ各管理者が県や天草市、各種協議会が主催する研修会に参加し、令和6年度から義務化される感染症や自然災害発生時のBCP（事業継続計画）、高齢者虐待防止の強化等、研修内容に基づき具体化を図っています。防災対策については、下浦地域コミュニティーセンターや地域消防団との具体的な役割分担等の協議開始が課題となっています。

4. 年2回の定時理事会（5月、3月）及び定時評議員会（6月、3月）を開催し、第1回定時理事会においては、事業報告及び決算報告等を行い、第2回定時理事会においては、事業計画及び予算を主題とした理事会を開催し、各定時評議員会において承認を行う。また、必要が生じた場合は理事会・評議員会を随時開催・審議し、法人の適正な運営に努める。

第1回定時理事会	令和5年6月1日（令和4年度事業報告、令和4年度決算等）
第2回定時理事会	令和6年3月14日（令和6年度事業計画、収支予算等）
第1回定時評議員会	令和5年6月22日（令和4年度決算ほか）
第2回定時評議員会	令和6年3月28日（令和6年度事業計画、収支予算等）
監事監査	令和5年5月30日（令和4年度事業運営及び決算）

5. 内部管理体制の整備を行い、経営・リスク管理・コンプライアンス等の状況を把握するとともに、適正な法人運営に向けて意見交換を図り、相互認識を深め、適宜改善に向けて努力する。

令和6年度の介護報酬改定及び感染・自然災害発生時の業務継続計画、高齢者虐待防止の取り組みの強化等の義務化をふまえ、法令及び運営指導指針等に基づいて、法人運営及び施設・事業所が適正に運営されているか、毎年度、自主点検を行うことが課題と言えます。

6. 令和4年度に迎える聖和会創立30周年記念に向けて、地域に還元できる企画を含めたイベントを計画し、実行委員会を立ち上げ開始する。

「天草市老連だより」に協賛団体として「社会福祉法人聖和会」としての広告宣伝を継続して行っています。また、「下浦ふるさと祭り」、「天草宝島国際トライアスロン」にも協賛団体として地域貢献と法人PRの取り組みをすすめています。

また、天草市観光事業をふまえた下浦地域イルミネーションイベントに参加し、本渡東中学校の生徒と協力して構内斜面の飾り付けを行いました。

7. 経理処理については公認会計士による点検及び評価を受け、法令及び基準に則り適正に処理されていることの確認を行う。

熊本県及び天草市の指導監査の助言・指導や公認会計士のアドバイスをふまえ、法令及び法人規定に基づく適正な経理処理に努めます。また、令和5年理事会及び評議員会での審議結果をふまえ、平成31年に入居者から遺贈された固定資産（家屋、土地）については、適正な処分をすすめることが課題となっています。

8. 新型コロナウイルス感染症の対応について

(1) ケアハウス聖和園

令和5年6月11日～6月19日 入居者2名、職員1名

令和6年1月31日～2月18日 入居者14名

(2) デイサービスセンター聖和園

令和6年1月31日～2月16日 利用者2名

令和6年3月17日～3月29日 利用者11名、職員3名

(3) 有料老人ホーム桜の園

令和6年2月1日～2月25日 入居者6名

(4) 特別養護老人ホーム聖和園

令和5年4月～令和6年3月まで 入居者0名、職員6名

※ ケアハウス聖和園及びデイサービスセンター聖和園、桜の園においてクラスターが発生し感染者の個室隔離、濃厚接触者の居室待機などの感染対策を講じました。ケアハウス、桜の園にはデイサービス及び特養（本部配置）職員を応援派遣し、感染者の施設内療養支援を実施しました。一方、特養聖和園では新型コロナウイルス感染症発生当初から現在に至るまで「入居者感染0名」を継続しています。

今後もゴールデンウィークや夏休み、年末年始期間中は感染流行期として感染者が増加することから、入居者のワクチン接種の勧奨、職員の職場・家庭での感染予防の徹底により、利用者様に感染を拡げない取り組みを継続する必要があります。

II ケアハウス聖和園

「明るい老後を目指して」の理念に基づき、施設生活の入り口とも言うべきケアハウスでの生活が、ご本人の状況に合わせて自分らしい生活を維持できるよう施設運営に心掛けてまいりました。また、高齢者の医療・介護を配置した複合施設として、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、お一人お一人に寄り添って、安心感を抱いていただき「ここにきてよかった」と思っただけの施設作りに尽力してまいりました。

1. 入居者が気持ちよく安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

築31年が経過し建物及び設備の不具合が生じています。火災や緊急災害時の避難経路確保を目的とした中庭の整備はグループ職員の協力により着実にすすめています。一方、建物劣化調査の結果をふまえ壁面・屋上部分の雨漏り箇所の大規模修繕が急務の課題となっています。

2. 入居者の体調・精神面の変化に留意し、健康で安全な生活をしていただけるように努める。

入居者の高齢化やADL低下も見られる中で、転倒や容態急変による救急搬送事例が複数ありました。開医院や通所リハビリ、ホームヘルプ、デイサービスとも連携し、入居者の暮らしぶりや体調変化などの情報共有、日常的な健康管理に留意した支援を継続しています。また、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生事例を教訓に適時検査によるウイルスの早期発見と感染予防の徹底、夜間帯の容態急変時の対応について開医院との連携強化を図ることが課題です。

3. 入居者に満足していただける食事を提供する。

感染者の施設療養支援時や体調不良時にあたっては開医院や栄養士・管理栄養士の指導の下で入居者様の体調をふまえた食事形態も提供できるよう努めました。一方、高齢者の皆様が喜んでいただける献立については、嗜好や日常的な食べ残し調査結果等も活用し、様々な職種（役割）との意見交換を活発に行いっそう食事サービス提供の向上を図ります。

4. 入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

本人のニーズを的確に把握し各担当ケアマネと連携し、入居者様に必要となるサービス内容を案内できるよう支援を行いました。引き続き、利用中のホームヘルプ、通所リハビリ、デイサービスの各事業所との連携をいっそう深め、日常生活が快適に過ごせるように努めます。

5. 四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わっていただく。

コロナ禍で外出機会が少なくなっている点もふまえ、グループ構内の散歩の推奨・支援、施設行事や食事サービスにより季節感を感じていただけるよう工夫を図りました。

6. 入居者と職員の信頼関係をつくる。

日常的な支援を通じて、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めました。ご意見箱の設置なども含めて、日常のお困りごとや不安に思っている点も把握できるよう努めています。

7. 職員の資質向上を目指し、楽しく仕事ができる環境を作る。

軽費老人ホーム運営設置指導指針をふまえ課題別の研修を実施します。また、施設行事の開催にあたっては職員も入居者様と一緒に楽しめる企画となるよう工夫を図ります。

8. 入居者獲得により事業運営を安定させる。

定員50名中、入居者数47名（うち長期入院者5名）、空室・減収による事業運営に影響が生じているため新規入居者の受入れに向けて地域、関係機関へのPR活動が喫緊の課題です。

ケアハウス聖和園 令和5年度 行事報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和5年	4月	消防訓練 消防設備点検 ハウス創立記念日（31周年）	花見 誕生会	虐待防止研修（24日）
	5月	合同消防訓練（23日） ※1 新型コロナワクチン接種（春）	菖蒲湯（5日） 母の日（バラの湯）（14日） 合同消防訓練	感染症対策研修（24日） （食中毒）
	6月	聖和会理事会（1日） 聖和会評議員会（22日）	父の日（18日） ひらやま衣料品店出張販売	停電・台風対応研修（24日） 接遇研修
	7月		七夕（7日） 土用の丑の日（30日）	看取り介護研修（24日）
	8月	合同夏祭り（中止）	夏祭り	事故防止研修（24日）
	9月	下浦敬老会（記念品配布） 消防立入検査（7日） ※2 新型コロナワクチン接種（秋）	敬老会（18日） 長陽の節句（9日） 十五夜、お茶会	苦情解決研修（24日）
	10月	下浦秋祭り 消防設備点検（25日）	下浦秋まつり（15日）	感染症対策研修（24日） （インフルエンザ等）
	11月		法人開設記念行事	身体拘束研修（24日）
	12月	開会・聖和会職員忘年会 イルミネーション点灯式（1日） 合同消防訓練（8日） 浄化槽点検（19日） ※3 季節性インフルエンザ予防接種	ひらやま衣料品店出張販売 ゆず湯 クリスマス会（24日） 忘年会	事故防止研修（24日）
令和6年	1月	ボイラー設備配管洗浄（27日）	初詣・初湯 新年会 七草粥	接遇研修（24日）
	2月	下浦ふるさと祭り（4日）	節分・豆まき（3日） 下浦ふるさと祭り バレンタインデー（14日）	褥瘡研修（24日）
	3月	理事会（14日） 評議員会（28日）	ひな祭り・お茶会（3日） 花見、ドライブ ホワイトデー（14日）	看取り介護研修（24日）

※ 毎月24日、その月誕生日の入居者様の誕生会を実施する。

※ 毎月1回、夜警者による消防訓練を実施する。

Ⅲ デイサービスセンター聖和園

通所介護事業所としての役割や当センターの特徴を活かし、利用者様に必要な日常生活上の支援及び機能訓練を中心に事業運営をすすめてまいりました。感染対策をふまえ利用者様が安心してご利用いただける環境改善として、天井の空調設備の更新整備を実施しました。

1. 利用者様の体調や要介護等の心身特性を踏まえて、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助等日常生活上必要な支援及び機能訓練をすすめました。

2. 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう目標を設定し、計画的にその提供を行いました。特に複合施設の利点を生かし利用者様が安心して、快適に過ごして頂けるようグループ施設間の連携に努めました。

3. 利用者様の長期入院やご逝去、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い利用者数の減少、売上減が顕著となり事業運営に大きく影響しました。そのため、近隣の通所施設で閉所となった利用者の優先受入や認知症や介護度が高く複数の職員での介助が必要な方等も積極的に受け入れました。また、居宅介護支援事業者、包括支援センター、その他保健医療サービス及び福祉サービス提供者への利用促進の広報活動を行いました。引き続き、安定的な事業運営のため要介護、要支援双方の利用者獲得と令和6年度介護報酬改定ふまえた新規加算取得が課題となっています。

4. 感染症・災害対策・地域との連携について、令和6年3月に在宅利用者の新型コロナ感染にはじまり、事業所内で利用者11名、職員3名に拡大しクラスターが発生し、天草保健所に報告・指導の下、利用者数を少なくすることで事業継続を図りました。また、ご家族様や関係機関と協力し自宅療養中の利用者様への配食や服薬管理、健康観察等のサービスを提供しました。

隣接するケアハウス聖和園及び有料老人ホーム桜の園におけるクラスター発生時には、施設療養支援中の入居者様への生活支援・健康観察、疑い者の検査等に応援職員を派遣しました。

災害対策については、下浦地域との連携や利用中の利用者の避難方法等の具体化が課題となっています。

5. 職員への伝達及び確認を徹底し、円滑な業務が継続できるよう徹底しました。また、ライフスタイルに合わせた働き方の実践、育児休業取得の推奨、職員が働きやすい職場環境づくりに努め、最低年5日の年休消化を必須とし、より多くの有給休暇の取得を実現しました。

6. 地域貢献について、学校、社協、各種サポートセンターと連携し取り組みをすすめています。本渡東中学校生徒のサマーワークキャンプや職場体験、本渡東小学校児童の高齢者との交流会、また、障がい者の職場体験・実習の受入れを積極的にすすめました。その結果、障がい者1名について、新規採用となり聖和会の法定雇用を達成することができました。

デイサービスセンター聖和園 令和5年度 行事報告

定例行事

利用日	送迎、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練、口腔ケア、機能訓練
毎 月	体力測定 ゲーム：輪投げ、風船バレー、ボール渡し他 製作活動：手工芸、折り紙、ちぎり絵、ぬり絵、習字、脳トレ 農園活動：ふれあい農園 ボランティア：天草市介護ボランティア事業受入れ 誕生会：利用者様の誕生日に実施 委員会：感染症対策委員会、安全衛生委員会、虐待防止委員会

年間行事

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和5年	4月	消防設備点検	花見（3月28日～30日） かかし見物（中止）	虐待防止研修
	5月	合同消防訓練（5月23日） ※ 新型コロナワクチン接種	菖蒲湯、端午の節句 母の日会（5月10日～12日） 合同消防訓練（5月23日）	感染症対策研修 （食中毒）
	6月	集団指導 空調設備交換（6月12日）	父の日会（6月21日～23日）	サービス向上研修
	7月	本渡東小学校交流訪問 6年生38名（7月12日）	七夕（飾り付けのみ） 海の日ドライブ（7月26日～28日） そうめん流し（中止）	認知症研修
	8月	夏祭り 天草市社協ワークキャンプ 本渡東中12名（8月22日～23日）	夏祭り（8月9日～10日） スイカ割り（中止） ぶどう狩り（中止）	事故防止研修
	9月	防災訓練 本渡東中学校職場体験受入 本渡東中学校2名（9月14日～15日）	敬老会（9月13日～15日）	苦情解決研修 9月6日 アンガーマネジメント研修 森都心プラザ（江崎）
	10月	下浦秋祭り（10月15日） 消防設備点検 開杯グランドゴルフ（10月14日） 障がい者実習（10月2日～6日）	下浦獅子舞見学 秋祭り 運動会（10月25日～26日）	感染症対策研修 10月11日 虐待防止研修 オンライン（江崎、梅田）
	11月	天草准看護学校 計13名（11月6日～9日）	文化祭 紅葉ドライブ（11月22日～24日）	身体拘束研修 11月10日 虐待防止研修 オンライン（坂本、井手尾）
	12月	合同消防訓練（12月8日） イルミネーション点灯式（12月1日） ※ インフルエンザ予防接種	ゆず湯（12月18日～22日） クリスマス会（12月22日） クリスマスコンサート 天草吹奏楽団（12月23日） 忘年会、餅つき（12月26日）	事故防止研修
令和6年	1月	避難訓練（利用者・職員）	初詣（1月3日～5日）	接遇研修
	2月	下浦ふるさと祭り（2月4日）	節分・豆まき（2月2日～3日）	褥瘡研修
	3月	床ワックス掛け（3月30日）	ひな祭り（写真撮影のみ） 花見（4月1日～）	B C P 研修

※ 誕生日当日に入居者様の誕生会を実施する。

Ⅳ 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

令和6年1月から施設管理者の交代により新施設長の下で事業運営をすすめています。新型コロナウイルス感染については、職員の複数感染により職員配置が困難な時期はサービス提供に制限せざるを得ない状況がありました。一方、職員の日常的な感染予防・対策の効果として「入居者感染0名」を継続できていることは、大きく評価できます。

事業運営においては、入居者様の突発的な入院や逝去による短期間の空床期間は生じたものの安定した定員充足率となっています。今後も物価高騰への対応をはじめ開設10年経過での修繕費増加が見込まれることから、建物の中長期のメンテナンス効果をふまえた予算化が課題となっています。

1、感染症対策の強化について

感染流行期には職員感染も多く、業務の制限をせざるを得ない日が数日あり、入居者様にはご迷惑をお掛けすることとなりました。ウイルス自体の感染力は強く高齢者、基礎疾患を有する方が感染した場合の重篤化のリスクは依然高いことから、感染流行期にあつては、法人・事業所独自に高齢者・介護施設として安心・安全なサービス提供に向けた感染症対策を実施することが引き続き求められています。

2、職員の満足と資質の向上について

年度途中の退職や施設管理者交替に伴う職員不足については、グループ法人全体の人事異動により対応しています。1月からは施設ケアマネの専従配置、開医院看護職による日中の看護指導等も行っています。職場環境の改善にあたっては個浴のリフト化を実現し職員の負担軽減を図りました。外部研修は「介護ロボット導入研修」「キャリアパス生涯研修」等への参加、ユニットリーダーは2名実地研修を受講し資格を取得しました。処遇面では、令和6年度介護報酬改定をふまえ介護職員等処遇改善加算への移行も含め、新規加算の取得が継続的な課題となっています。

3、選ばれる施設運営について

定員充足率98.8%（昨年度99.2%）、退去18名中16名のご家族が施設での看取りを希望して頂きました。これは医療との複合施設として信頼して頂いている結果だと評価できます。面会については「看取り期」はもとより、通常時も感染対策に協力していただき「対面」面会を再開し大変喜んでいただけました。施設独自にはLINE等のSNSを活用して暮らしぶりの情報提供を継続しています。

4、地域との関わりについて

運営推進会議は5、7、9、11、1、3月の6回を集合・対面で開催しました。下浦社協「ふれあい弁当事業」は11月、3月の2回共同で取り組み好評でした。10月には数年振りに地区老連の開杯グラウンドゴルフ大会、下浦獅子舞訪問が再開され地域交流を楽しみました。災害時「福祉避難所」の設置依頼はありませんでした。広報誌「ハッピーロード」は4、8、12月に発行し、ご家族・地区のコミュニティーセンター・グループ施設に掲示させて頂きました。

特別養護老人ホーム聖和園 令和5年度 行事報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修など（施設研修、外部研修）
令和5年	4月	花見	花見、鯉のぼり 誕生会（8日、28日）	13日 苦情解決研修
	5月	開会・聖和会合同消防訓練 下浦地区社会福祉協議会総会 運営推進会議	菖蒲湯（3日～5日） 母の日（14日） 誕生会（13日、25日）	11日 感染症（食中毒）対策研修
	6月	※ 新型コロナワクチン接種	父の日（18日） 誕生会（2日、6日）	8日 停電・台風対応研修 8日 アンガーマネジメント研修 22日 安全対策担当者養成研修（福原） 23・28・29日ユニットリーダー研修（菅原）
	7月		開杯グランドゴルフ大会 運営推進会議 天草特養連絡協議会	七夕（7日） 流しそうめん（25日） 誕生会 13日 看取り介護研修 12日 福祉機器展示会視察（大塚康、嵩田） 27・28日ユニットリーダー研修（福原）
	8月	開会・聖和会合同夏祭り	スイカ割り（3日） 夏祭り（24日） 誕生会（17日）	10日 事故防止研修 22・23日キャリアパス対応生涯研修（松山）
	9月	ご家族報告・意見交換会 下浦敬老会 運営推進会議 ※ 新型コロナワクチン接種	敬老会（18日） 特養花火大会（14日） 十五夜（29日） 誕生会（9、22、24、28日）	14日 虐待防止対策研修 27日 メンタルヘルス研修（中河原、菅原）
	10月	下浦秋祭り（15日） 天草准看護学校実習受入（6～9日） 下浦老連・開杯グランドゴルフ大会（14日）	下浦獅子舞訪問（15日） 百寿表彰式（2日） 運動会（11日） 誕生会（12日）	12日 感染対策研修 26日 福祉サービス苦情解決研修（大塚康）
	11月	運営推進会議 下浦社協ふれあい弁当事業（17日） 開設10周年記念行事（20日）	開設記念行事 インフルエンザ予防接種 誕生会（13日、21日、23日）	9日 事故防止対策研修 6日 介護ロボット導入支援研修（嵩田） 28日 高齢者虐待防止研修（井上）
	12月	開会・聖和会職員忘年会（中止） 開会・聖和会合同消防訓練（8日） ※ インフルエンザ予防接種	ゆず湯（21日～23日） クリスマス会（24日） 忘年会餅つき（28日） 誕生会（1日、5日～7日、24日）	14日 虐待防止研修 15日治療と仕事の両立支援セミナー（中河原）
令和6年	1月	運営推進会議	初詣 忘年会・七草粥（7日） 百寿記念品贈呈式（15日） 誕生会（2日、3日、5日）	11日 接遇研修
	2月	下浦ふるさと祭り（4日）	節分・豆まき（3日） 誕生会（1日、2日、10日、12日）	褥瘡研修（資料配布による） 6日 福祉人材採用力向上セミナー（中河原） 14日職場リーダーの伝える力向上研修（菅原） 20～23日ユニットリーダー研修（菅原）
	3月	運営推進会議 下浦社協ふれあい弁当事業（8日）	ひな祭り（3日） お茶会 花見、ドライブ 誕生会（5日、15日）	14日 看取り介護研修（井上） 19～22日ユニットリーダー研修（福原） 21日 健やか生きいきプラン・令和6年度介護報酬改定・地域支援事業説明会（中河原、谷上、大塚康）

※ 月1回、施設職員による消防訓練を実施する。

V 有料老人ホーム桜の園

「明るい老後を目指して」の理念の下で、入居なされた方々の「新しい家庭」として、一日一日の生活を安心して楽しく過ごしていただけるよう「お食事へのこだわり」と「天然温泉に入ることができるしあわせ」をサービスの柱として事業運営をすすめました。高齢化にともなう長期入院やご逝去により利用者様が退所される事例も続き、その後、新たな入居者様を迎えることとなりました。

1. 現状の入居者様の高齢化、要支援、要介護の度合いの高まりをふまえ、日常生活で必要とされる介護サービスに応じた説明、関係機関への案内を適切に行えるようグループ法人内での情報共有に努めました。

2. 入居者様のA D L低下及び長年事業運営を担ってきた職員の退職の現状をふまえ、感染症発生時や火災・地震など大規模災害及び利用者様の不慮の事故、健康悪化時に緊急かつ的確に対応できるよう応援体制と職員のスキルアップを図ることが課題となりました。

現在、専従の生活相談員の増配置することにより、利用者様の生活支援・相談を充実させています。

3. 新型コロナウイルス感染症から利用者様を守るため日常的な感染予防を徹底しましたが、令和6年2月期に入居者6名感染によるクラスターが発生しました。濃厚接触者も含めて居室療養・待機となり外出や外部サービス利用を制限することとなりました。期間中はデイサービス及び特養聖和園（本部配置）から応援職員を派遣し健康観察及び生活支援を継続しました。

一方、令和5年5月以降は、ご家族様・ご友人との面会も対面式を再開し、利用者様及びご家族様の感染対策の協力の下、感染流行期を除き外出も楽しめました。

4. 物価高騰等による事業運営費の掛かり増し経費増加の課題について、開設以降の利用料据え置き現状をふまえ、入居者様・ご家族様とサービス内容及び利用料見直し等の話し合いの場として運営懇談会による継続的な意見交換を行いました。その結果、引き上げ額や実施時期、管理費の計画的な財源確保、説明不足など事業運営の在り方に対する意見をふまえ、令和6年1月分から利用料改定（食費及び管理費）を図りました。以降、単独事業所としての収益も改善方向に向かっています。

5. 一方、長期、安定的な事業運営には年間を通じて入居率を高める必要があります。令和5年5月から有料老人ホームとして、県内外の多くの方にPRできるよう民間のポータルサイトと提携し、インターネット上で桜の園の入居案内サービスを導入しました。令和6年3月末現在、天草市4件、熊本市1名、東京都1件の計6件の資料請求の照会に対応しています。

6 令和6年4月1日の入居状況は、17名（男性6名、女性11名）定員21名に対する入居率は80%となっています。

有料老人ホーム桜の園 令和5年度 行事報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和5年	4月	消防訓練 浄化槽清掃（13日） エレベーター点検（18日）	花見、ドライブ	虐待防止研修
	5月	合同消防訓練（23日） 運営懇談会（個別説明） ※新型コロナワクチン接種	菖蒲湯（5日） 母の日（バラの湯）（14日）	感染症対策研修 （食中毒）
	6月	消防設備点検（15日）	父の日（18日）	停電・台風対応研修
	7月	エレベーター点検（7月20日）	七夕（7日）	看取り介護研修
	8月	合同夏祭り（中止） 給湯器設備交換	ひらやま衣料品販売（24日）	事故防止研修
	9月	下浦敬老会（記念品贈呈） 運営懇談会（個別説明） ※新型コロナワクチン接種	敬老会（18日） 重陽の節句（9日） 十五夜、お茶会（29日）	苦情解決研修
	10月	下浦秋祭り（15日） エレベーター点検（16日） 浄化槽点検（20日） 消防設備点検	下浦獅子舞訪問（15日）	感染症対策研修 （インフルエンザ等）
	11月	非常灯点検（2日） 運営懇談会（28日）	ボジョヌーボ解禁日（16日）	身体拘束研修
	12月	合同消防訓練（8日）	ゆず湯 クリスマス会（24日） 忘年会	事故防止研修
令和6年	1月	運営懇談会（個別説明）	初詣・初湯 新年会 七草粥	接遇研修
	2月	下浦ふるさと祭り（4日） 桜の園創立記念日（1日）	節分・豆まき 下浦ふるさと祭り バレンタインデー	褥瘡研修
	3月	スプリンクラー工事	ひな祭り、お茶会（3日） 花見（29日） ホワイトデー	看取り介護研修

※ 誕生日当日に入居者様の誕生会を実施する。

※ 毎月1回、夜警者による消防訓練を実施する。

各施設の入居利用者状況推移表

1 ケアハウス聖和園

(項目)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	8	8	10	14	12
女性	40	42	40	33	35
計	48	50	50	47	47
体験入居	1	0	0	0	0
合計	49	50	50	47	47
自立	5	7	6	7	9
要支援1	7	6	5	5	4
要支援2	15	8	6	5	2
要介護1	9	17	23	19	15
要介護2	11	10	8	9	11
要介護3	1	2	1	1	5
要介護4	1	0	0	1	0
要介護5	0	0	0	0	1
計	49	50	49	47	47
入居者平均年齢	91.8	90.1	89.5	89.1	88.2

2 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

(項目)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	7	9	7	7	6
女性	22	20	22	22	23
計	29	29	29	29	29
要介護3	5	5	3	2	3
要介護4	15	12	16	18	21
要介護5	9	12	10	9	5
平均	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
入居者平均年齢	90	90	90	92	92
平均入居日数	965	1047	997	913	788

3 有料老人ホーム桜の園

(項目)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	5	5	5	5	6
女性	15	15	13	14	11
計	20	20	18	19	17
自立	4	4	4	3	4
要支援1	3	1	1	1	1
要支援2	4	5	6	6	2
要介護1	6	5	3	7	8
要介護2	3	5	4	1	1
要介護3	0	0	0	1	1
要介護4	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0
計	20	20	18	19	17
入居者平均年齢	88.2	89.2	88.3	90.1	92.3

4 デイサービスセンター聖和園 利用状況推移表（延べ人数）

年度	サービス区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計	前年比	備考
平成29年度	通所介護	812	891	804	819	835	782	757	734	746	714	710	745	9,349	10,583	15	平成29年度中に予防から総合に完全移行
	総合事業	24	56	83	77	87	110	129	114	128	121	130	175	1,234			
平成30年度	通所介護	680	726	761	773	725	703	737	697	691	638	454	708	8,293	9,960	-623	1月31日～2月6日インフルエンザ感染により閉鎖
	総合事業	158	167	129	138	120	116	135	145	147	147	116	149	1,667			
平成31年度 (令和元年度)	通所介護	712	666	630	721	714	639	720	678	640	595	584	643	7,942	9,481	-479	機能訓練員不足により個別機能訓練加算がとれず減収
	総合事業	153	170	141	156	121	127	112	105	105	107	109	133	1,539			
令和2年度	通所介護	631	454	661	696	698	667	714	697	773	722	649	740	8,102	9,568	87	4月機能訓練員配置による加算、要介護者数増え増収
	総合事業	131	133	143	134	115	111	132	116	113	107	108	123	1,466			
令和3年度	通所介護	657	662	673	691	652	676	670	635	685	645	568	617	7,831	9,353	-215	利用者の高齢化に伴う長期入院及び逝去による利用者減
	総合事業	129	120	130	131	116	128	124	141	147	123	110	123	1,522			
令和4年度	通所介護	579	546	557	602	579	520	519	552	512	488	569	582	6,605	8,103	-1,250	入居施設利用者の感染発生による利用者減の影響大きい
	総合事業	119	131	130	116	124	111	117	150	140	115	104	141	1,498			
令和5年度	通所介護	471	569	447	556	560	511	504	513	522	477	482	548	6,160	7,359	-744	利用頻度の多い利用者の施設入居及び逝去、入居施設利用者コロナ感染による利用者減少
	総合事業	80	100	82	93	97	110	113	109	112	115	102	86	1,199			